令和２年１０月１日

関係各機関の長　殿

徳島大学大学院医歯薬学研究部
研究部長　苛　原　　稔〔公印省略〕

内科系（小児科学分野）教授候補者の公募期間延長について（依頼）

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて，本研究部では，内科系（小児科学分野）の香美　祥二 教授が令和２年３月末をもって退職したことに伴い，後任の教授を公募しておりましたが，このたび公募期間を延長することとなりました。
つきましては，ご多忙中のところ恐縮ですが，貴学（機関）または関係方面に適任者がおられましたら，下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。
なお，候補者の方には，選考の過程において公開講演，面談等を実施させていただく場合がありますので，あらかじめご承知おき願います。

敬具

記

１．応募資格
１）博士（医学）の学位を有する者
２）日本の医師免許を有する者
３）小児科専門医および認定小児科指導医の資格を有する者
４）小児科学分野における豊富な実績を有し，教育，研究及び診療の積極的な指導実践ができる者
５）小児科学分野において公正な管理運営を行い，大学院医歯薬学研究部及び医学部の発展に貢献できる者
６）徳島大学病院の管理運営に寄与できる者

２．提出書類
１）履　歴　書　　１通
２）業績目録　　１通
３）参考資料　　１揃
４）論文別刷　　１揃
５）推　薦　状　　１通
※「応募書類作成要領」参照

３．応募締切日　令和２年１１月３０日（月）１７時必着

４．書類送付先及び照会先
〒770-8503
徳島市蔵本町２丁目 50-1
徳島大学総務部人事課蔵本人事係
e-mail:jnjin2c@tokushima-u.ac.jp
Tel:088-633-7018　Fax:088-633-7474
※郵送の場合は簡易書留で送付し，応募書類を入れた封筒には「内科系（小児科学分野）教授応募書類在中」と朱書すること。

５．その他
１）本公募文書（応募書類作成要領を含む）については，下記のホームページでダウンロードしてください。
・徳島大学ホームページ(https://www.tokushima-u.ac.jp/)
・研究者人材データベース(https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop)
２）徳島大学大学院医歯薬研究部の教員選考においては，国籍，性別およびハンディキャップ等による差別を排除し，真に優秀な人材を採用すべく，公平な選考を行います。
３）提供していただいた個人情報は，採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり，この目的以外で利用又は提供することはありません。

応 募 書 類 作 成 要 領

1．履歴書（※書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）

1)書式は，A4 判(縦)横書きで作成すること。（別紙「履歴書作成例」参照）
2)メールアドレスは，選考の過程においての諸連絡に使用するので正しく記載すること。
3)連絡先は，電話，郵便等での連絡先とし，勤務先又は自宅のいずれかを記載すること。
4)学歴は，高等学校卒業以降，大学卒業又は大学院修了までの学歴を全て記入すること。
5)研究生などの履歴は，職歴欄に記入すること。
6)職歴は，大学卒業又は大学院修了以降の履歴を，空白期間のないよう簡潔に記入すること。
7)職名，所属講座などの記載方法は別紙「履歴書作成例」に従い，重複期間のあるものには説明を付すこと。
8)所属学会は，全国規模の学会のみを記載すること。
9)学術賞等は全国規模の学会賞等を対象とし，大学内での受賞等は対象外とする。
10)外国出張等は，その期間が２ヶ月以上の外国出張，留学等について記載すること。また，出張等先，当時の身分は英語等による原文で記載すること。
11)業績内訳は，「２．業績目録 2)の①～⑪」に記載した事項について集計し記載すること。
12)業績内訳の（論文数）欄については総数を記載し，併せて筆頭，セカンドオーサー，コレスポンディングオーサー，ラストオーサー，単著をそれぞれ内数で記載すること。その場合，単著は筆頭に含めないものとする。
13)業績内訳の（学会発表回数）欄については，演者を(　)により，内数で記載すること。

2．業績目録（※書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）

1)書式：A4 判(縦)横書き
2)①欧文原著（学会の abstract/proceedings は除く），②和文原著（代表的なもの 20 編以内，学会の abstract/proceedings は除く），③欧文症例報告（学会の abstract/proceedings は除く），④欧文総説，⑤和文総説（代表的なもの 10 編以内），⑥欧文著書，⑦和文著書，⑧国際・国外学会での特別講演，⑨国際・国外学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演は除く），⑩国内全国学会での特別講演，⑪国内全国学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演は除く）（⑧～⑪については演者でなくてもよい。）の順に記載し，それぞれに通し番号を付すこと。
3)全著者名（候補者名にアンダーラインを引くこと），表題，誌名・書名，巻数，頁(始～終)，発表年（年代順）を記載すること。
4)主要な論文 10 編に○印を付すこと。
5)現在印刷中の論文については，その旨を記載すること。

3．参考資料（※1）～9）は書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）

1)「２．業績目録 4)」により○印を付した主要論文 10 編についての要旨（別紙「主要論文要旨作成例」参照）
2)○印をつけた主要論文の内容を盛り込んだ業績内容の概要（A4 判(縦)横書き：2,000 字以内）
（別紙「業績内容の概要作成例」を参照）
3)今までの取り組みや抱負等
①教育に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
②研究に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
③診療に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
4)担当授業科目一覧
(A4 判(縦)横書で，平成３０年度及び令和元年度の担当授業科目等について記載すること。他大学等の授業担当科目等もすべて記載（「授業科目名」欄に大学名等を記載)すること。）

（作成例）　　担当授業科目一覧表（平成３０年度，令和元年度）

授業科目名	担当年度	年間担当時間数	特記すべき授業内容
○○学	Ｈ３０，Ｒ１	前期30時間	
○○学実験・実習	Ｈ３０	通年45時間	
（教育に関する特色等があれば記載してください。(400文字以内)）			

5) ＦＤ・教育セミナー等の参加状況について
（作成例）

主　　催	年　月　日	名　　称
徳島大学	平成２７年６月	チュートリアル ＦＤ

6) 学内・学外での委員歴
（作成例）

年　　度	名　　称
平成２６	教務委員会（副委員長）

7) 科学研究費補助金，その他の助成金の受領状況一覧
（A4 判（縦）横書で，代表，分担の区分順に，省庁等の名称，名称（種別），受領年度（継続の場合は，初めの年度から終わりの年度まで），金額総額（間接経費を含む。分担の場合も総額を記載すること），研究課題名，研究分担者の場合は代表者の研究課題名，所属機関及び職・氏名を記載すること。）

（作成例）　　科学研究費補助金等受領状況一覧表

区分	省庁等名	名称（種別）	受領年度	金　額	研究課題名	備　　考
				千円		
代表	文部科学省	科学研究費補助金（基盤研究Ｃ）	H15	3,000	○○○○○○○	
代表	文部科学省	科学研究費補助金（基盤研究Ｂ）	H20	4,000	○○○○○○○	
分担	文部科学省	科学研究費補助金（基盤研究Ｂ）	H23～25	8,000	○○○○○○○	代表 ○○大学○学部教授○○○○
研究協力者	厚生労働省	特定疾患研究費補助金	H21～22	7,000	○○○○○○○	主任研究者 ○○大学○学部教授○○○○
代表	○○財団	○○奨励賞	H24	500	○○に関する研究	

8) 国内・国際特許出願・取得状況一覧
（A4 判（縦）横書で，現在までに取得した国内・国際特許について作成し，それぞれ取得を証明できる書類のコピーを添付すること。※出願のみや公開中のものはその旨記載すること。）

（作成例）　　国内・国際特許出願・取得状況一覧

特許種別	名　　称	特 許 番 号	出願・取得年月日	
国　内	○○○○○○○○○○○○○○○○	2005-12345	H17.　.	取得
国　際	△△△△△△△△△△△△△△△△	2006-67890	H18.　.	出願

9) ○印をつけた主要論文 10 編を評価引用してあるテキストブック（欧文），一流誌のレビュー等があればそのコピー。

10) 「履歴書 10. 資格」に記載した資格を証明するもの（認定書のコピー等）

11) 「履歴書 12. 賞罰」に記載した受賞を証明するもの（賞状のコピー等）

４．論文別刷

1) 「２．業績目録 2) の①欧文原著，②和文原著，③欧文症例報告，④欧文総説，⑤和文総説，⑥欧文著書，⑦和文著書」については，すべて別刷又はコピーを添付し，別刷には業績目録と照合し

やすいように対応する番号を付すこと。
2)現在印刷中の論文については，校正刷又は投稿原稿のコピーに掲載許可証明を添付すること。

5．その他の注意事項

1)提出される書類は，印字してください。
2)送付された書類は，返却しないので，重要な書類についてはコピーを提出すること。

（履歴書作成例）

令和○○年○○月○○日現在

履　　歴　　書

ふりがな 1．氏　　名	○○○○　　○○○○ ○　○　　○　○
2．生 年 月 日	昭和○○年○○月○○日　（○○才）
3．現　　職	○○大学講師○○学部（○○講座）
4．所属機関住所	〒○○○－○○○○ ○○県○○市○○○○○○１－２－３　○○大学○○学部 （電話）　（　　）　－　　（内　　）
5．現　住　所	〒○○○－○○○○ ○○県○○市○○○○○○３－２－１ （電話）　（　　）　－ （携帯電話）
6．メールアドレス	○○○○○@○○○○．○○．ａｃ．ｊｐ
7．連　絡　先	勤務先・　自　宅
8．学　　歴	昭和○○年○○月　○○県立○○高等学校卒業 昭和○○年○○月　○○大学○○学部卒業 平成○○年○○月　○○大学大学院○○学研究科修士課程修了 平成○○年○○月　○○大学大学院○○学研究科博士課程修了
9．学　　位	平成○○年○○月　博士（○○）（○○大学甲○第○○○号）
10．資　　格	医籍登録　昭和○○年○○月○○日（第○○○○号） 日本○○学会○○○　昭和○○年○○月○○日（第○○○○号） 日本○○学会○○○　昭和○○年○○月○○日（第○○○○号）
11．職　　歴	平成○○年○○月　○○大学○学部附属病院において研究従事 平成○○年○○月　○○大学○学部附属病院医員（研修医） 平成○○年○○月　○○病院○○科医師 平成○○年○○月　○○大学助手○○学部（○○講座） 平成○○年○○月　○○大学講師○○学部（○○講座） （現在に至る）
12．賞　　罰	平成○○年○○月　○○学会奨励賞
13．所 属 学 会 （役員名、委員名）	日本○○学会（評議員），日本△△学会（○○○○委員）， 外国の学会（原文標記）
14．外国出張等 （留学・研修含む）	平成○○年○○月～平成○○年○○月 米国 Harvard Medical School, Department of ○○ (Visiting Professor) （原文標記）

15. 業績内訳

(論文数)

	原著		欧文	総説			著書	
	欧文	和文	症例報告	欧文	和文		欧文	和文
総数	３７	１３	１６	2	1			
筆頭	１９	3	9	1	0	単著	0	1
ｾｶﾝﾄﾞｵｰｻｰ	5	1	3	1	0	共著	3	2
ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞｵｰｻｰ	２３	1	１１	1	0	分担	0	0
ﾗｽﾄｵｰｻｰ	0	0	3	0	0			
単著	0	0	0	0	0			

※筆頭，セカンドオーサー，コレスポンディングオーサー，ラストオーサー，単著はそれぞれ内数で記載すること。その場合，単著は筆頭に含めないものとする。

(学会発表回数)

国際・国外学会		国内全国学会	
特別講演	シンポジウム等	特別講演	シンポジウム等
２０ （１５）	１５ （１０）	２５ （１５）	２０ （１０）

※（　）は演者で内数を記載

（主要論文要旨作成例）

主　要　論　文　要　旨

論文番号	欧文 6
全著者名	○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○
論 文 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
雑 誌 名	○○○○○○○○○○○○○○
論文要旨	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○ ○○　　　　　　　　（２００字程度） ○○

論文番号	欧文 13
全著者名	○○○○，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○
論 文 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
雑 誌 名	○○○○○○○○○○○○○○
論文要旨	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○ ○○　　　　　　　　（２００字程度） ○○

〔以下省略〕

（業績内容の概要作成例）

業 績 内 容 の 概 要

氏 名（　　）

※２，０００字以内にまとめること。

私の研究は，○○○○代謝及び治療に関するものであり，1)○○○○の代謝調節及び作用機序に関する研究，2)○○○○の発生機序に関する研究，3)○○○○代謝異常の病態及び治療に関する研究の３つに大別される。

1)○○○○の代謝調節及び作用機序に関する研究

ラット及び培養細胞を用いて○○○○活性化調節機構とその調節因子について検討し，甲状腺ホルモンに加えカルシトニン（欧4），prostaglandin（欧12），インスリン（欧21,30,和5），血中○○○○（欧31）の○○○○酵素活性調節作用，○○○○と○○○○との相互の代謝調節作用（欧17,和20）○○○○輸送促進による腸管○○○○吸収促進作用（欧5），細胞膜リン脂質代謝の変化を介する○○○○流入機構の促進による腸管○○○○吸収促進作用を明らかにした（欧6,7,和8）。

2)○○○○の発生機序に関する研究

（中略）

3)○○○○代謝異常の病態及び治療に関する研究

（中略）

私の研究の特色は，患者の症状，所見などを対象とした臨床研究から，タンパク質・核酸を対象とした分子細胞生物学的研究まで多岐にわたっている。近年は，○○○○の発症機序の解明，○○○○異常の病態解析及び治療法確立に主眼を置いている。

また，私の○○○○代謝に関する研究はHarrison's Principles of Internal Medicineなどの成書やEndocrine Reviews 等の総説に引用されている。